

認知症の治療  
大切さを学ぶ

県薬剤師会が公開講座

県薬剤師会の公開講座

「認知症は怖くない！」(大分合同新聞社後援)が18日、

大分市のJCOMホルトホール大分であった。

約100人が参加。大分

大学付属病院薬剤部(由布

市)の佐藤雄二副薬剤部長

が「認知症とくすり」と題

して講演。「治療しないと

症状は悪化する。薬を服用

することで症状が緩和され

ることもある」と話した。

県高齢者福祉課の川井梨

沙主幹は、地域ぐるみで認

知症患者を見守る体制をつ

くる重要性などを説明。「長

生きずれば誰でもなる可能性がある病気。周囲の協力が大切」と呼び掛けた。

上野公園病院(日田市)

の大神博史診療部長による

特別講演もあった。